

協力隊通信

川部幸太 4月の活動報告

地域おこし協力隊
耕野地区担当

川部 幸太
玉川 渉

第23号 2020.5.1



川部農園の整備が進んでいます！

協力隊の任期があと1年となりました。(2021/4/30まで)
今年も何かとお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルスの影響で様々な行事が中止となり、活動の場も少なくなっていますが、今まで後回しになり続けていた畑仕事を進めることができます。ゴミの片付けから始まり、獣害対策のトタンと網の設置、竹階段の設置、育苗などを行っています。

今回は母と兄が手伝いに来てくれて、一人で作業するよりも何倍ものスピードで作業が進んでいき、驚きと感動と感謝でいっぱいです。

今後、片付けたゴミの処理や下屋の設置、看板のデザインを姉にしてもらったりして、さらに川部農園の完成度と川部度(?)を高めていきたいと思えます！

また、多品種少量生産でいろいろな作物をつくり、直売所等で販売できるようがんばります！



↑波トタンと網を設置した畑。
今年是被害がないといいなあ。
波トタン設置時の動画をフェイスブックに投稿したのでご覧ください～。



←竹階段。
兄との合作です。

トモロコシ育苗中→
このほか葉物から根菜まで、
いろんな作物に挑戦しています。



今月の出来事

☆畑仕事の合間の雨の日、竹をひたすら削ってカップをつくりました。フェイスブックに投稿したところ予想を上回る反響で、デザイナーさんから「商品化しよう！」という力強い言葉もいただきました。しっかり作り込んでいき、手に取ってくれた人が幸せになるようなものづくりをしていきたいです。



☆農園のあるところでカブトムシがすくすくと育っています。ちょっと掘り返しただけでもかなりの数が確認できるので全部で何匹いるやら・・・成虫になるのが待ち遠しい！

☆STAY HOMEが呼びかけられている中、コケの飼育熱が再燃してきました。竹林の中から採取してきたり、茗茄沢の側溝上げの最中に側溝から採取したり、いろいろなものを育てています。玄関に緑が増えて、癒しの空間になっています～



玉川 渉 4月の活動報告

ザンビア・丸森プロジェクト



2018年度の研修員(農業普及員)
この方たちと連絡を取り合っています



2018年の本邦研修の一場面

先月に引き続き、プロジェクトの開始に向けた調整業務を行っています。主に、活動計画の詳細部分の修正をしつつ、想定される開始時期に合わせ、活動スケジュールの候補をいくつかのパターンに分けて作成しています。パソコンを使ったTV会議で、専門家と活動計画の修正に関する相談も行いました。以前丸森に研修を受けた農業普及員との互いの農業関連活動や次期プロジェクトの計画等についての情報交換も今まで通り続けています。聞くところによると、現地でも新型コロナウイルスの影響で農業普及員の方々が、農村で活動できないようです。現地とも、お互いに励まし合いながらこの局面を乗り切りたいと思います。

野菜栽培



去年、時期を逃して育ちすぎたささげ



いくつか蒔いた種より最初の発芽
忌避効果のあるマリーゴールドです

おとし、去年に続き、今年も野菜栽培をします。去年はトウモロコシ、ささげ、トマト、ビートルートなどの栽培をしていましたが、野生動物による被害や収穫時期を読み違えて、固くしてしまったりと、思うような栽培ができませんでした。今年は同じような失敗をしないように野菜栽培に取り組みたいと思います。育てる品種はザンビアプロジェクトで普及した野菜、またはザンビアでよく作られている野菜を中心に選んでいきたいと思います。耕野とザンビアとでは、気候や地質が違いますが、今後のプロジェクトに役立つ経験ができればと思います。

災害時の感染症対策学習会に参加

一般社団法人OPENJAPANさんと、認定NPO法人JENさんの共同開催の「災害時の感染症対策学習会」というオンライン学習会に参加しました。もし、現在起きているようなウイルス感染症の拡大期に災害が発生し、避難所に関わるようになった場合、どのように自身を感染症から守り、また、避難所での感染の発生をどのように防いでいくか、参加者約20名で学び合うことができました。普段から防災の備えに加え、心身の健康管理も心得ておきたいです。利用する機会が増えてきたオンラインTV通話などで、このご時世、簡単に会えない家族ともお互いに顔を見ながら災害や感染対策など、話してみようかなと思っています。